



<人と人との出会いの輪 大切に!>

先日、富山市立北部中学校3年1組の皆さんから33枚のお手紙をいただきました。これは、アイバンクだよりに掲載された「二つの世界を感じて・・・」という15歳の息子を亡くされ献眼を頂いた佐藤瑞穂さんが書かれた手記を道徳の時間に読んで生徒さんからのお手紙です。生徒の皆さんからは「献眼のこと少し理解できた」「命の大切さを学んだ」「誰かの役に立ちたい」「母の愛情をあらためて考えた」など、多くの感想を佐藤さんへの手紙という形で表してくださいました。早速そのお手紙は佐藤さんへお送りさせていただきました。お手紙の中から一部ご紹介いたします・《中学生からの手紙》

私は、貴方の手記を読んだとき涙が出ました。私も最近父を亡くしたので、その悲しみと重なったのだと思います。(中略) 貴宏君はとても喜んでいると思います。目があることでたくさんの風景や人を見ることができる。でも、一番うれしかったのは、この世から消えてほしくないという母親の愛情だと思います。貴宏君をととても愛していたのですね。いなくなってからその存在の大きさが身にしみたとします。でも得たものもありますよね。(中略) 貴方のおかげで今も貴方と同じ世界に住むことができます。貴宏君は、ずっと貴方からの愛を感じていると思います。そして貴方をずっと愛していると思います。(富山市立北部中学校3年1組 W・M)

<1月の事業実績の概要>

● 献眼登録者数	20名
● 累計	18,882名
● 献眼者数	2名
● 累計	2名
● 寄付金収入	105,000円
● 累計	105,000円
● 賛助会費収入	30,000円
● 累計	30,000円
● 助成金収入	0円
● 累計	0円
● 募金収入	7,321円
● 累計	7,321円

★ 新湊ライオンズクラブ例会にて講演

去る1月19日、新湊ライオンズクラブ例会にて入江事務局員が「献眼の現状について」と題して講演いたしました。

★ 福井県アイバンク設立20周年記念式典

去る2月8日、福井県アイバンク設立20周年記念式典がありました。富山県はアイバンクから3名、キャビネットから3名が参加しました。式典及び記念パーティは眼科医師会、院内コーディネータ及び福井県内ライオンズクラブ関係が主で、内輪の記念式典でした。記念講演は勝山市・義宣寺住職、山田公照氏で演題は「そのことから逃げない」でした。今現在自分におきていることは、すべて起こるべくして起きていることなのだから、そのことを総て真正面から受けとめ「そのことから逃げない」という覚悟を持つことだと諭されました。

助成金・賛助会費・寄付金(1/1~1/31現在) 敬称略

賛助会費 個人会員

・慶野耕一(魚津LC) ・その他 9口

寄付金

・水橋ライオンズクラブ 100,000円 ・吉田昭義 5,000円

募金

・その他 7,321円

<お知らせ>

2月23日(金)午後4時から、県民会館にて富山県アイバンク理事会及び評議員会が開催されます。主な議題は18年度事業報告及び決算報告、および6月16日に開催されます15周年記念事業についても審議されます。各クラブの理事又は評議員の方はご出席下さいませようお願いします

翌日の24日(土)、宇奈月温泉にて「東海北陸アイバンク連絡協議会」が富山県の担当で開催されます。県外の新しい情報が入り、今後の活動指針となりますので有意義な会議になるかと思ひます。

Toyama Eye Bank